

社会資本総合整備計画

名水の里 秦野みらい 豊かな水と調和したまちづくり  
事後評価

秦野市

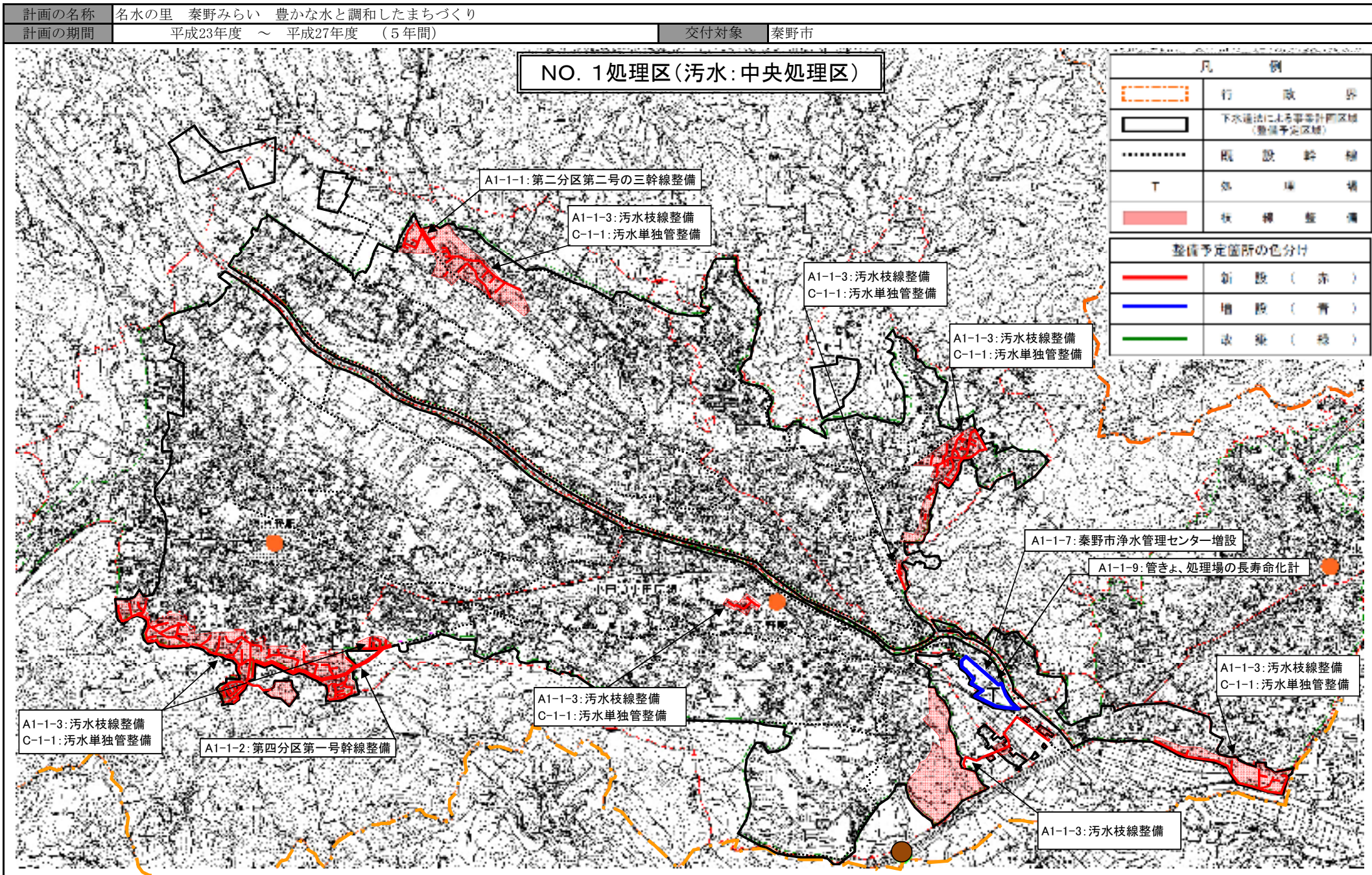
平成29年 9 月 1 日

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 9 月 1 日

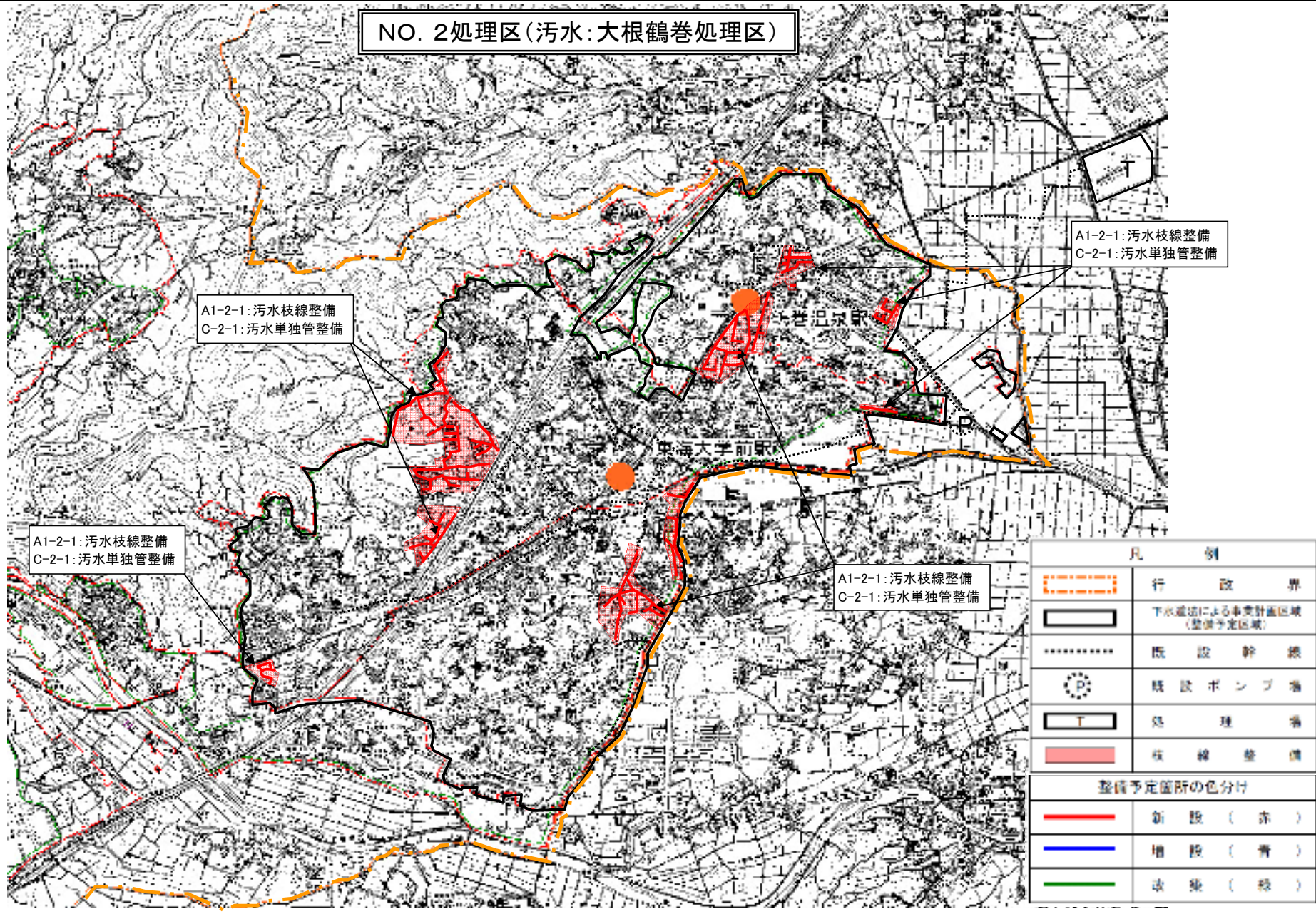
計画の名称	名水の里 秦野みらい 豊かな水と調和したまちづくり												
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	秦野市										
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道処理人口普及率を84.7% (H23) から92.4% (H27) に増加させる。 ②処理場における長寿命化計画策定率を0% (H23) から65.2% (H27) に増加させる。 ③下水道による都市浸水対策達成率を35.3% (H23) から37.3% (H27) に増加させる。												
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値	備考								
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 行政人口 (人)				84.7%	86.9%	92.4%							
② 処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場機器数 (個) / 長寿命化計画を策定すべき処理場機器数 (個)				0.0%	65.2%	65.2%							
③ 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)				35.3%	36.3%	37.3%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,942百万円	A	6,406百万円	B	0百万円	C	1,536百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.3%			
事後評価 (中間評価)													
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期													
事後評価 (中間評価) の実施体制				事後評価 (中間評価) の実施時期									
秦野市附属機関の設置等に関する条例第2条の規定により設置された秦野市上下水道審議会において実施				平成29年度									
				公表の方法									
				市ホームページに掲載予定									
1. 交付対象事業の進捗状況													
交付対象事業													
A1 下水道事業													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度) H23 H24 H25 H26 H27	全体事業費 (百万円)	備考
No.1処理区 (汚水：中央処理区)													
A1-1-1	下水道	一般	秦野市	直接	-	汚水	新設	第二分区第二号の三幹線整備 (未普及)	L=0.2km	秦野市		15	
A1-1-2	下水道	一般	秦野市	直接	-	汚水	新設	第四分区第一号幹線整備 (未普及)	L=1.2km	秦野市		124	
A1-1-3	下水道	一般	秦野市	直接	-	汚水	新設	汚水枝線整備 (未普及)	A=109.8ha	秦野市		952	
A1-1-7	下水道	一般	秦野市	直接	-	汚水	増設	秦野市浄水管理センター増設 (水質保全)	水処理第5池増設 (9380m <sup>3</sup> /日×1池)、監視制御設備 (1台)、水処理第4池及び沈砂池の防食塗装	秦野市		878	
A1-1-9	下水道	一般	秦野市	直接	-	汚水	全種	管きよ、秦野市浄水管理センターの長寿命化計画	調査、計画策定	秦野市		31	長寿命化支援制度
A1-1-11	下水道	一般	秦野市	直接	-	汚水	新設	第二分区第二号幹線整備 (未普及)	L=0.0km	秦野市		0	
小計 (中央処理区)											2,000		
No.2処理区 (汚水：大根鶴巻処理区)													
A1-2-1	下水道	一般	秦野市	直接	-	汚水	新設	汚水枝線整備 (未普及)	A=20.6ha	秦野市		409	
小計 (大根鶴巻処理区)											409		
No.3処理区 (雨水：第一排水区域)													
A1-3-2	下水道	一般	秦野市	直接	-	雨水	新設	雨水枝線整備 (浸水対策)	L=2.6km A=14.8ha	秦野市		443	
A1-3-3	下水道	一般	秦野市	直接	-	雨水	新設	大根川ポンプ場建設 (浸水対策)	ポンプ4台 (15.1m <sup>3</sup> /S)	秦野市		940	
A1-3-4	下水道	一般	秦野市	直接	-	雨水	全種	浸水シミュレーション	内水ハザードマップ	秦野市		24	
小計 (第一排水区域)											1,407		
合計											3,816		
B 関連社会資本整備事業													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度) H23 H24 H25 H26 H27	全体事業費 (百万円)	備考	
合計													
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考		
C 効果促進事業													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度) H23 H24 H25 H26 H27	全体事業費 (百万円)	備考	
No.1処理区 (汚水：中央処理区)													
C-1-1	下水道	一般	秦野市	直接	-	新設	汚水単独管整備 (基幹と接続)	A=43.1ha	秦野市		139		
No.2処理区 (汚水：大根鶴巻処理区)													
C-2-1	下水道	一般	秦野市	直接	-	新設	汚水単独管整備 (基幹と接続)	A=27.3ha	秦野市		61		
No.3処理区 (雨水：第一排水区域)													
C-3-1	下水道	一般	秦野市	直接	-	新設	内水ハザードマップ作成	印刷	秦野市		0		
合計											200		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考		
C-1-1	基幹事業である汚水管きよと接続した枝線整備を一体的に行うことにより、下水道の普及促進を図り、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資する。												
C-2-1	基幹事業である汚水管きよと接続した枝線整備を一体的に行うことにより、下水道の普及促進を図り、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資する。												
C-3-1	内水による浸水に関する情報及び避難に関する情報を住民にわかりやすく提供することにより、住民の自助を促し、内水による浸水被害を最小化する防災対策 (浸水) を図る。												
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。													
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況													
・汚水幹線・枝線の整備を促進したことにより下水道処理人口普及率が1.7%増加し生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図られた。 ・下水道長寿命化計画に位置づけた施設の調査を計画通り実施したことにより策定率を達成でき、これに伴い18.5%の施設の再構築が図られた。 ・雨水幹線・枝線の整備を促進したことにより浸水対策達成率が1.4%増加し内水による浸水被害最小化する防災対策が図られた。													
II 定量的指標の達成状況													
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道処理人口普及率)	最終目標値	92.4%	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理等の関連事業の工事施工が遅れたため、一部整備ができなかった地域があったことや、処理区域内人口の変動があり目標値を下回った。								
		最終実績値	86.4%										
	指標② (処理場における長寿命化計画策定率)	最終目標値	65.2%	目標値と実績値に差が出た要因									
		最終実績値	65.2%										
	指標③ (下水道による都市浸水対策達成率)	最終目標値	37.3%	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理等の関連事業の工事施工が遅れたため、一部整備ができなかった地域があったことや、軟弱地盤や地下埋設物等により施工の進捗があがらず、予定していた整備量に達しなかったため。								
		最終実績値	36.7%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)													
3. 特記事項 (今後の方針等)													
・生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図るため、社会資本総合整備計画 (第2期) においても引き続き公共下水道の整備を行っていく。また、土地区画整理等の関連事業との連携を図り整備を進めていく。 ・浸水被害を最小化する防災対策を図るため、社会資本総合整備計画 (第2期) においても引き続き浸水対策の整備を行っていく。また、土地区画整理等の関連事業との連携を図り整備を進めていく。													

(参考図面)



(参考図面)

計画の名称	名水の里 秦野みらい 豊かな水と調和したまちづくり	交付対象	秦野市
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)		



(参考図面)

